

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-232179

(P2004-232179A)

(43) 公開日 平成16年8月19日(2004.8.19)

(51) Int. Cl.⁷

DO6M 11/83

F I

DO6M 11/83

テームコード (参考)

4 L O 3 1

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2003-62490 (P2003-62490)

(22) 出願日 平成15年1月31日 (2003.1.31)

(71) 出願人 501348368

嘉村 一郎

佐賀県佐賀郡東与賀町大字飯盛4825

(72) 発明者 嘉村 一郎

佐賀県佐賀郡東与賀町大字飯盛4825

Fターム(参考) 4L031 AB31 BA04 DA00

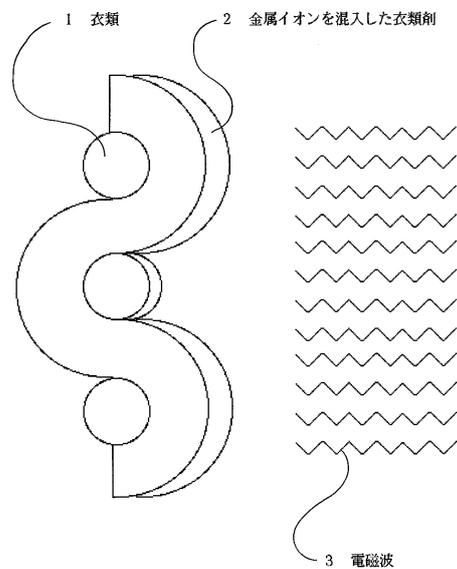
(54) 【発明の名称】 防電波金属イオン

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、衣類を通過する電磁波を衣類剤に混入した金属イオンによって防ぐものである。

【構成】 本発明は衣類剤に金属イオンを混ぜたもの2である。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本発明は衣類剤に金属イオンを混ぜたものである。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は、衣類を通過する電磁波を衣類剤に混入した金属イオンによって防ぐものである。

【0002】

【従来技術】

従来、衣類剤は衣類に付着させることによって衣類の皺を延ばしたり水を弾いたりしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

従来、電磁波を防ぐ目的でつくられた衣類剤はなかった。特殊な構造や素材の衣類以外は、衣類に電磁波が通過し防げなかった。本発明はこの課題を解決するために発明したものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】

本発明は、課題を解決するための手段として、衣類 1 に付着させた金属イオンを混入した衣類剤 2 によって電磁波 3 を防ぐものである。

【0005】

【作用】

本発明の作用として、衣類を通過する電磁波を防ぐものである。

【0006】

【実施例】

実施例について図面を参照して説明すると、第 1 図に示されている実施例では衣類 1 に付着または、浸透した、金属イオンを混入した衣類剤 2 によって電磁波 3 を防ぐものである。

【0007】

本発明に使用される金属イオンを混入した衣類剤 2 は、ムース、スプレー、ジェル、ゲル、などの衣類用のすべての衣類剤のことをいう。

【0008】

本発明に使用される金属イオンを混入した衣類剤 2 は、金属イオンではなくても電気が通るものであれば、何でもよい。

【0009】

本発明の金属イオンを混入した衣類剤を、販売前後の衣類や洗浄後の衣類に使用する事ができる。

【0010】

【発明の効果】

本発明の効果として、特殊な構造や素材の衣類ではなくても衣類を通過する電磁波を防ぐ効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の金属イオンを混入し付着した衣類剤と衣類の断面図である。

【図 2】本発明の金属イオンを混入し浸透した衣類剤と衣類の断面図である。

【符号の説明】

- 1 衣類
- 2 金属イオンを混入し付着した衣類剤
- 3 電磁波
- 5 金属イオンを混入し衣類に浸透した衣類剤

10

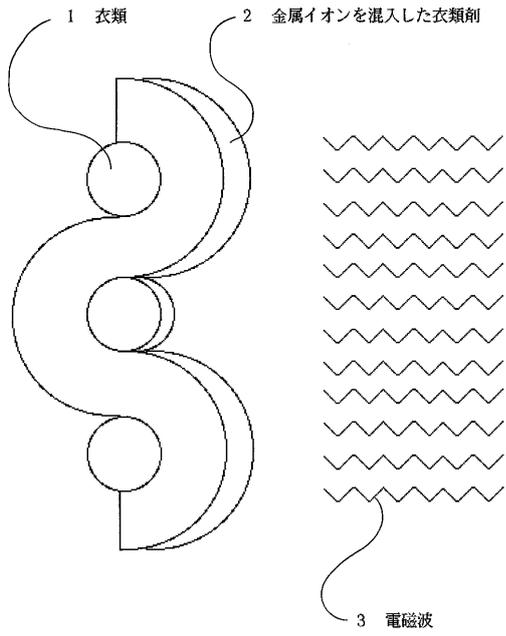
20

30

40

50

【図1】



【図2】

